

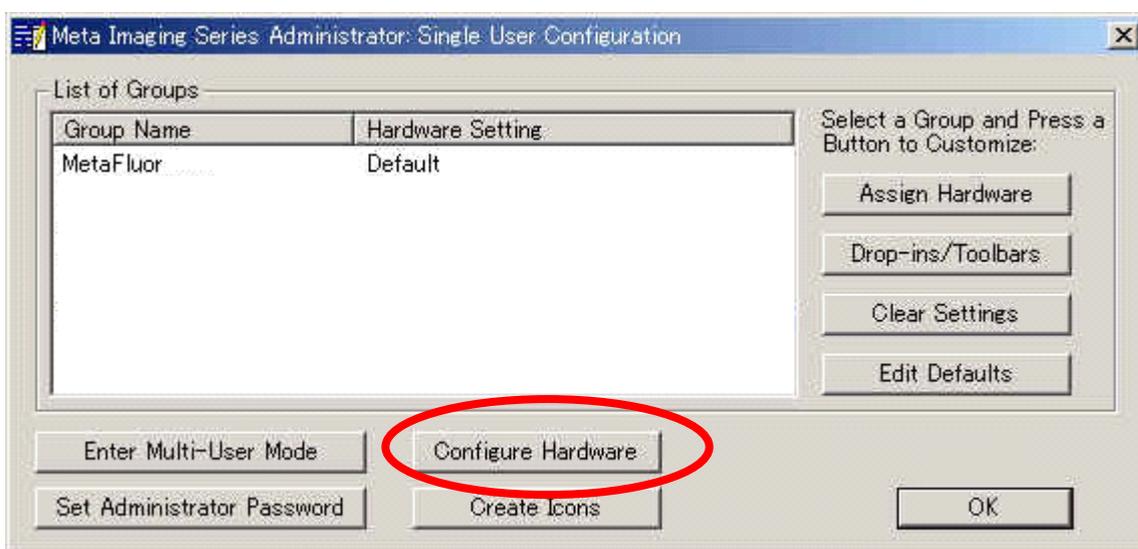
MetaFluor におけるトリガー取り扱いについて

トリガー入力でグラフにイベントマークを付ける場合

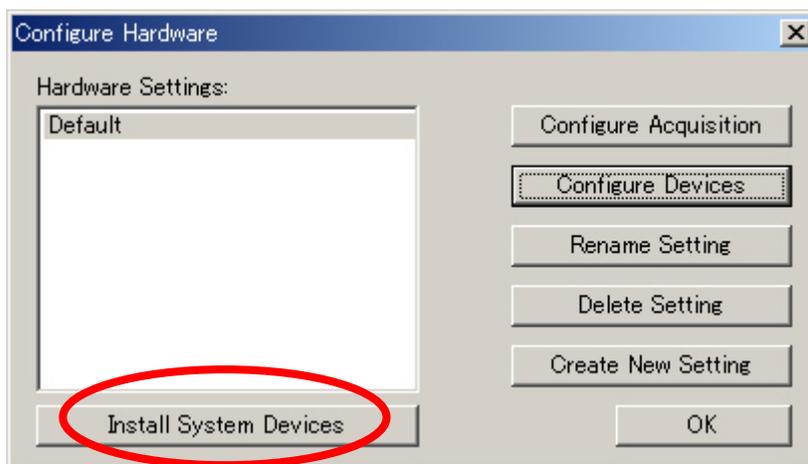
画像取得中に外部からのトリガー入力に同期してグラフ上にイベントマークを入れる場合、下記をご参照ください。

1. トリガー入力ポートの設定

- a) Meta Imaging Series 7 .x グループの Meta Imaging Series Administrator アイコンをダブルクリックして Meta Imaging Series Administrator ダイアログボックスが表示されます。

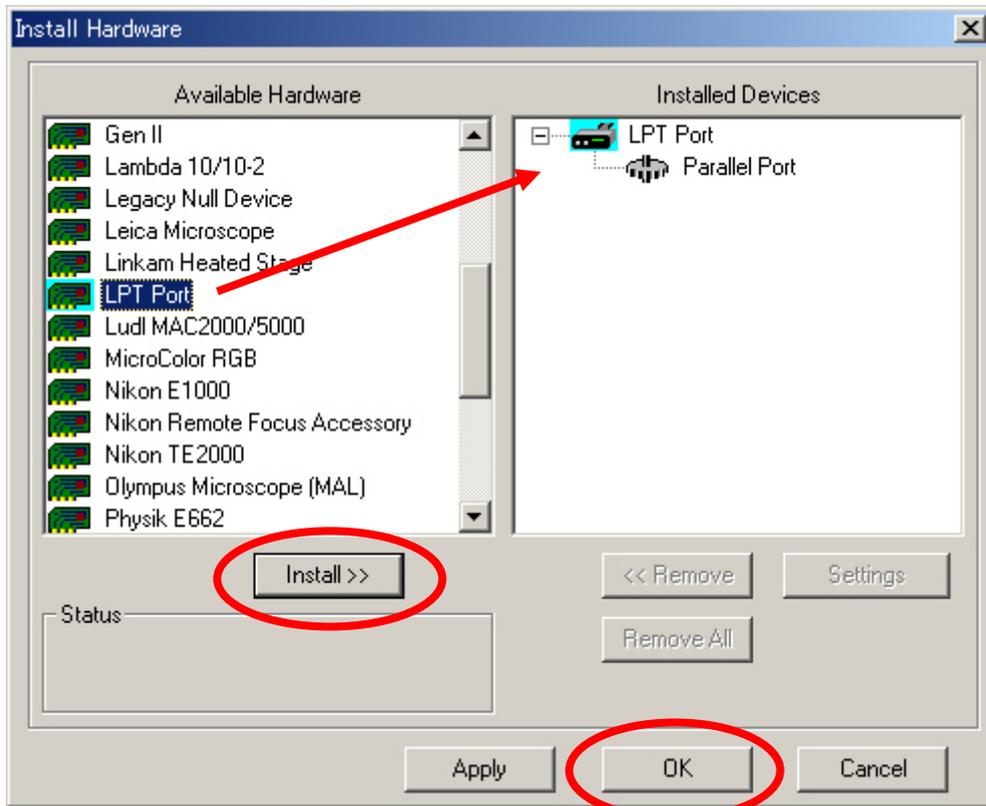


- b) Meta Imaging Series Administrator ダイアログボックスで Configure Hardware をクリックします。

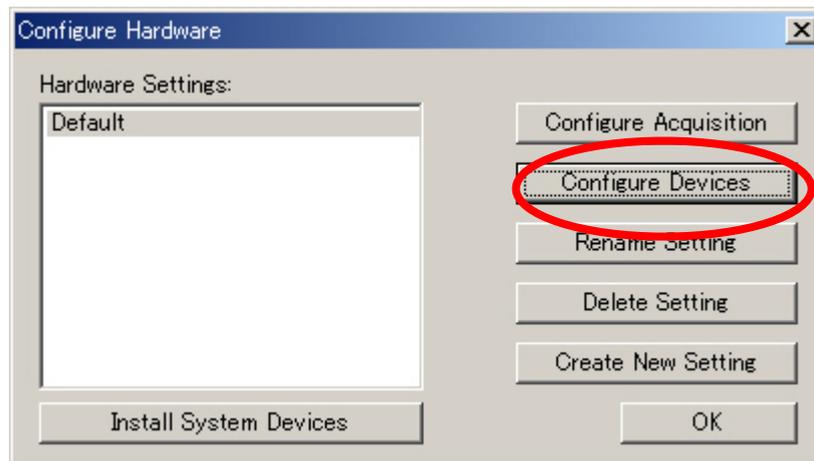


c) Configure Hardware ダイアログボックスで Install System Devices をクリックします。

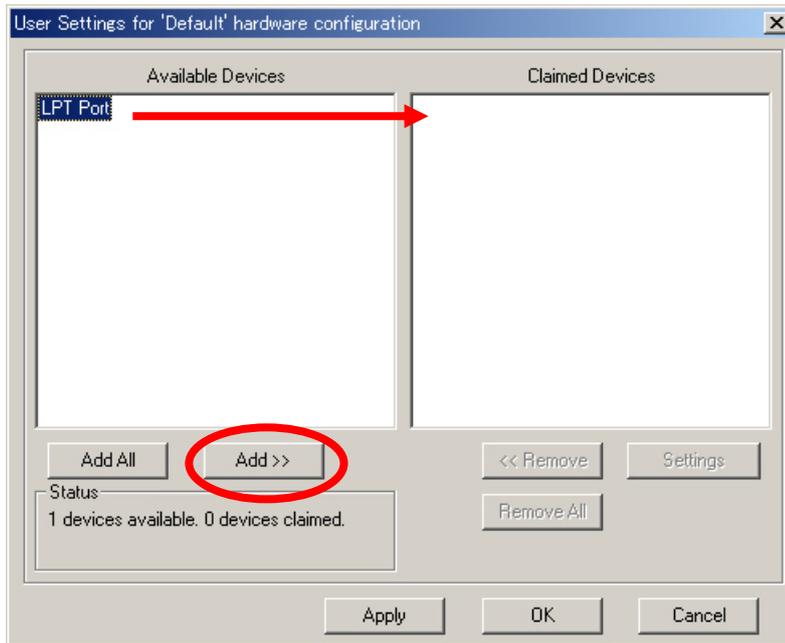
d) Install Hardware ダイアログボックスで Available Hardware から LPT Port を選択して Install>>をクリックします。Installed Devices に LPT Port が表示されます。OK をクリックします。



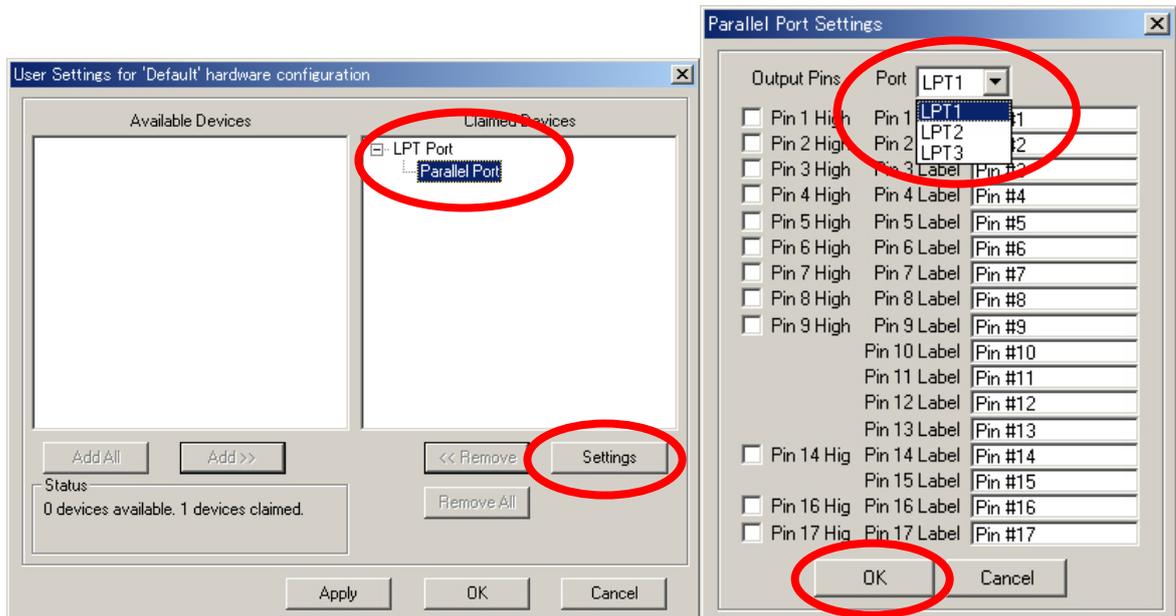
e) Configure Hardware ダイアログボックスで Configure Devices をクリックします。



- f) User Setting for “Default” hardware configuration ダイアログボックスで Available Devices で LPT Port を選択して Add>>をクリックします。Claimed Devices に LPT Port が表示されます。



- g) Claimed Devices の Parallel Port を選択して Setting をクリックします。Parallel Port Settings ダイアログボックスで Port のところで LPT 1, 2, 3 のいずれかを選択します。パラレルポートの増設等を行っていない場合は LPT 1 でよろしいと思います。チェックボックスのチェックは必要ありません。OK をクリックします。

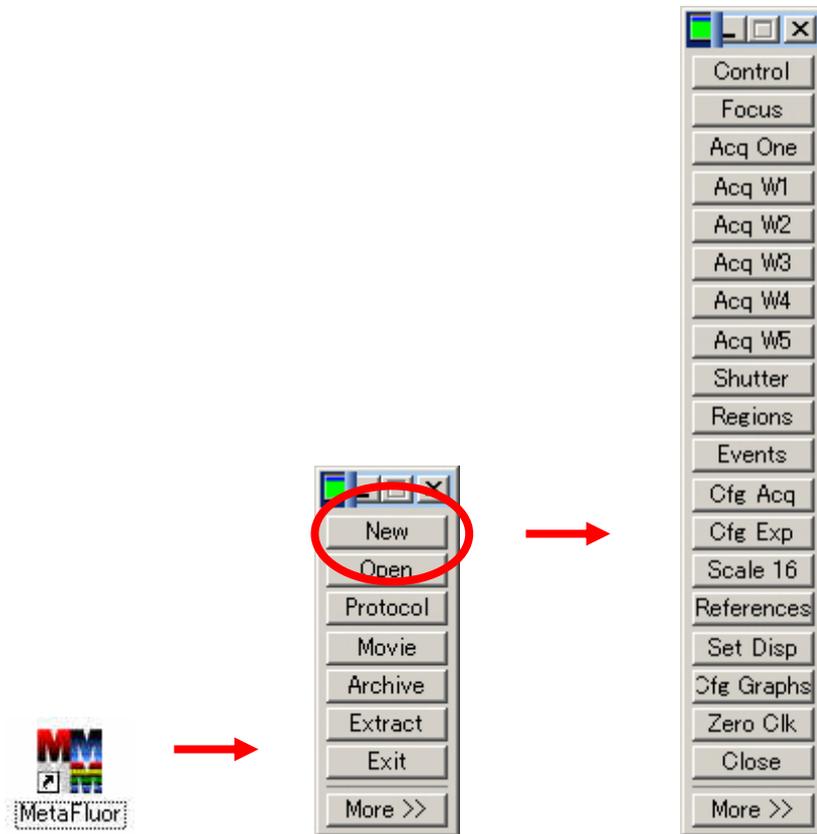


- h) 各ダイアログボックスで OK をクリックしてそれぞれを閉じます。トリガー入力ポートの設定は終了です。

すでにその他のデバイスが設定されている場合は、それらを残した状態で LPT Port を追加してください。

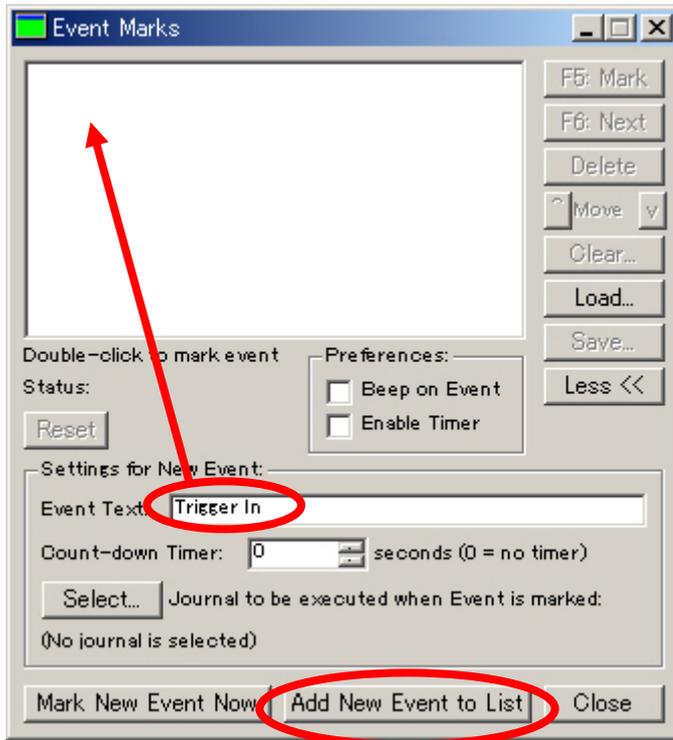
2. MetaFluor の起動

- a) Meta Imaging Series 6.1 グループの MetaFluor アイコンをダブルクリックして MetaFluor を起動します。
- b) コマンドバーから New をクリックします。画像取得用のコマンドバーが表示されます。
- c) 露光時間、波長等の基本条件の設定を行います。(設定方法は別途資料をご覧ください。)



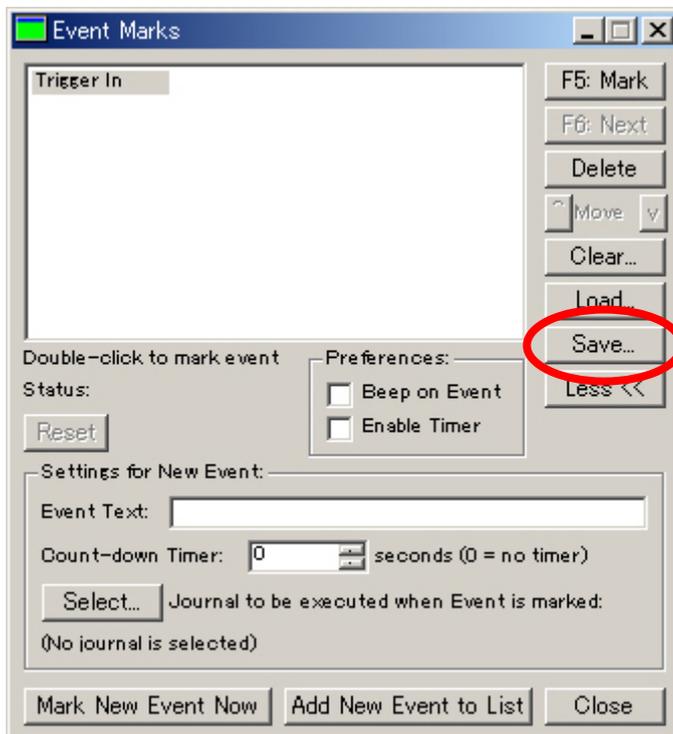
3. Event Mark の作成

a) コマンドバーから Events をクリックします。Event Marks ダイアログボックスが表示されます。



b) Event Marks ダイアログボックスの Event Text: に表示させるテキストを入力します。(ここでは Trigger In と入力します。)

c) Add New Event to List をクリックします。Event List に表示されます。



d) Save をクリックして Event List ファイル(EVT)を保存します。ここでは Trigger.EVT を入力します。

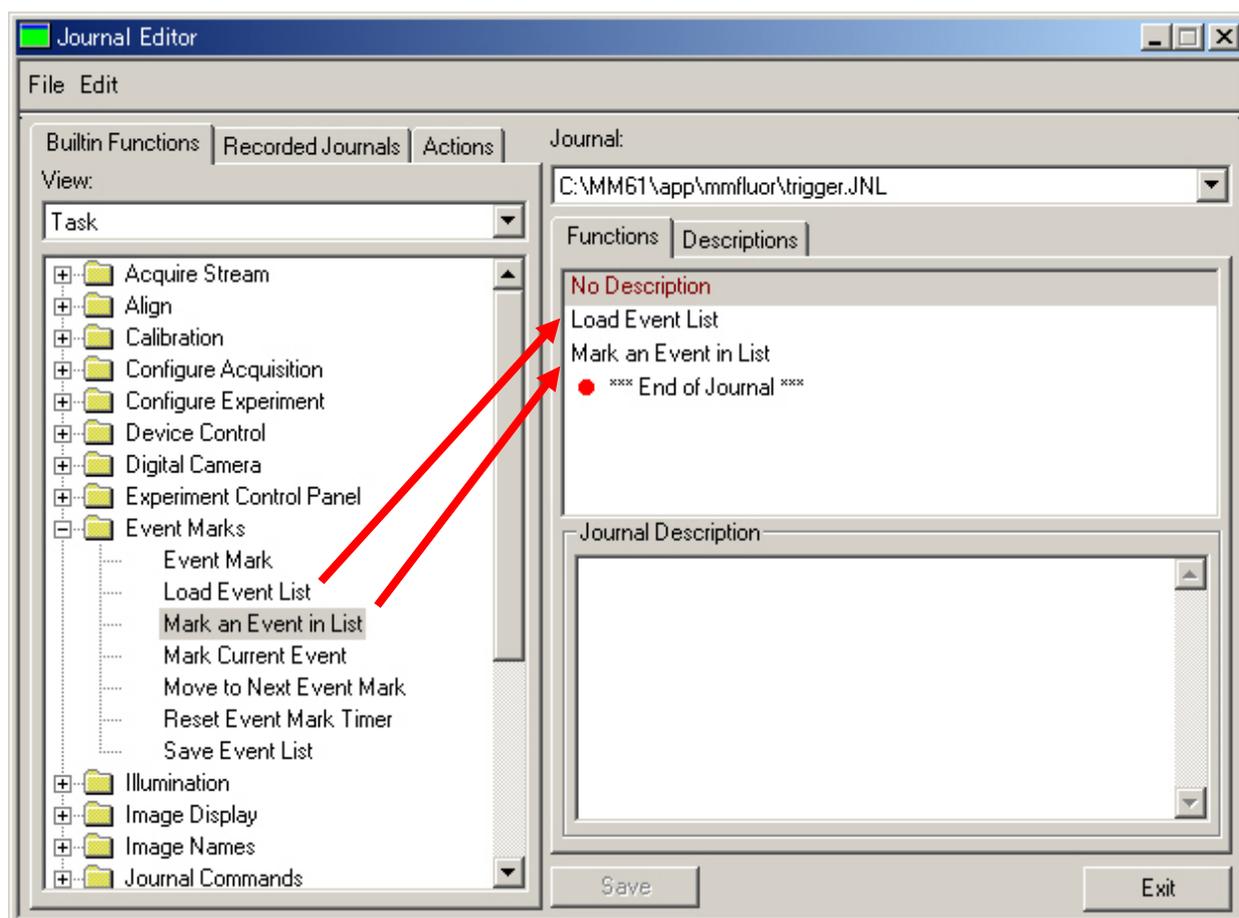
e) Close でダイアログボックスを閉じます。

4. Journal の作成

- a) Journals メニューから Create Journal を選択します。
- b) 新規作成する Journal ファイル(JNL)名を設定して保存をクリックします。(ここでは Trigger.JNL とします。)
- c) Journal Editor が表示されますので、左側の一覧から Load Event List を選択してダブルクリックします。Select Event List をクリックして 1. で保存した Event List ファイルを選択して開く、その後 OK をクリックします。(ここでは Trigger.EVT を選択します。)
- d) Journal Editor で Mark an Event in List をダブルクリックします。Select Event Mark ダイアログボックスで Event Mark で 1 に設定します。(リスト内に複数 Event がある場合その行を指定してください。) OK をクリックします。



- e) Save をクリックして b) で設定した Journal を上書きして保存します。
- f) Exit をクリックして Journal Editor を閉じます。

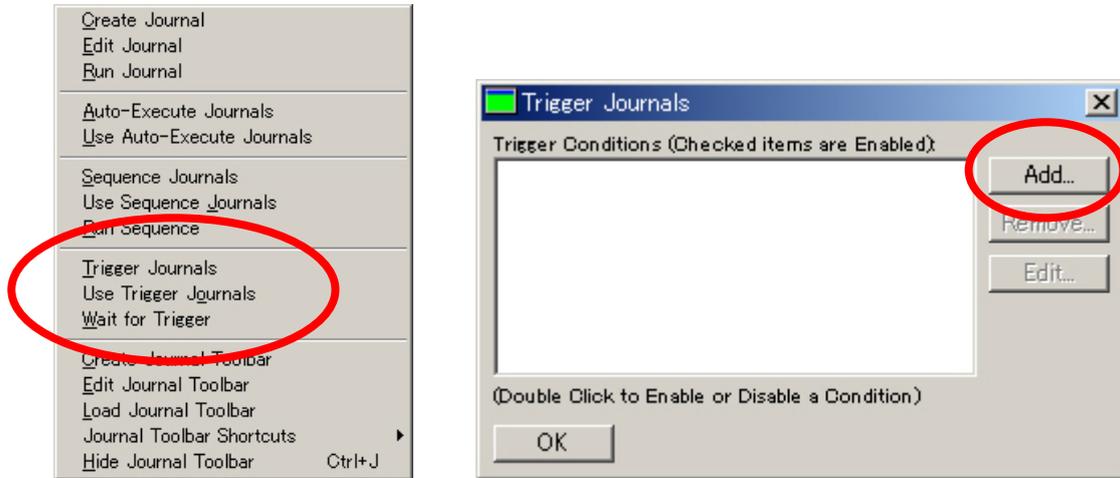


トリガー入力に同期して MetaFluor 内のコマンドを使用してアクションを起こす場合、上記 Journal にコマンドを追加してください。

作成して保存した Journal を変更 (編集) する場合は、Journals メニューから Edit Journal を選択して JNL ファイルを読み出し編集します。(Journal Editor が起動します。)

5. Trigger Journal の設定

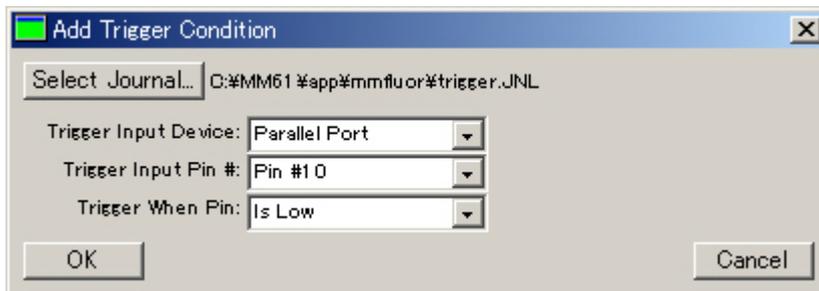
a) Journals メニューから Trigger Journals を選択します。



b) Trigger Journals ダイアログボックスで Add をクリックします。

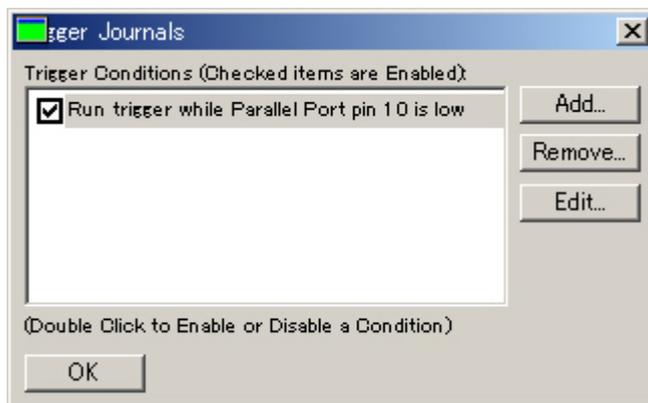
c) Add Trigger Condition ダイアログボックスでトリガーが入力されるピン番号を Trigger Input Pin #: で選択します。(ここでは Pin #10 が選択されています。) Trigger Input Device: は Parallel Port を選択します。Trigger When Pin: は入力されるトリガーによって Is Low または Is High を選択します。(ここでは Is Low が選択されています。)

d) Add Trigger Condition ダイアログボックスの Select Journal をクリックして使用する 4 で作成した Trigger Journal を選択します。(ここでは Trigger.JNL を選択します。)



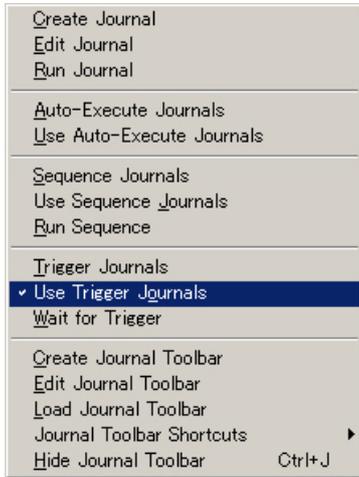
e) OK をクリックした後、Trigger Journals ダイアログボックスに戻ります。設定した Journal にチェックマークが入っていることを確認してください。無い場合はチェックマークを入れてください。

f) OK をクリックしてダイアログボックスを閉じます。



6. Trigger Journal を有効にする

- a) Journals メニューから Use Trigger Journals を選択します。選択しますと Use Trigger Journals にチェックマークが入ります。これで、Trigger Journal が有効になり、入力したトリガーに同期してイベントマークがグラフ上に表示されます。



7. 画像の取得、グラフ表示

- a) Region を指定して画像取得を開始します (Control Panel の F4: Acquire をクリック) とトリガーが入りに同期してグラフの X 軸 (Time) にイベントマークが入ります。また、保存した画像を読み出し表示した場合、グラフの X 軸にイベントマークが入ると共に Event List ウィンドウと Event ウィンドウが表示されます。

画像保存は Control Panel の Save Images にチェックを入れてください。また、画像読み出しはコマンドバーの Open をクリックして INF ファイルを読み出してください。)

